

ゆりかご 園だより

4期(1~3月)のねらい 2024-3-1

- ・表現活動を通して心を育てよう
- ・卒園・進級を期待しよう



ゆりかごでは1年間を4期にわけ、それぞれねらいをもって保育しています。

新しい友だちや先生と仲良くなることをねらったⅠ期(4-5月)。保育者や友だちとの関係を土台にして、Ⅱ期(6~9月)は水あそびや

外あそびを通して、しなやかな体づくりをねらいます。「運動会」はそんなⅡ期の保育の大きな山場となります。自然の中でいっぱいあそび、手指のしなやかさをねらった活動が中心となるⅢ期(10~12月)「つくてあそぼう」の行事が、その期の長期的な活動です。そしてⅣ期(1~3月)は心のしなやかさをねらった活動に取り組み、仲間と一緒に表現する喜びを味わっています。他園のような父母を招いての「発表会」は行いません。大人に見せることを目的とした表現活動ではなく、これまで一緒に過ごしたぞう組さんに「卒園おめでとう」「小学校へ行って、元気だね」「今までありがとう」の気持ちを込めて取りこんでいます。

各年齢で、それぞれ表現活動を通して何を達成させたいのか、どんな力を育てたいのか、保育の目標をしっかりおさえながら、子どもひとりひとりが自分の思いを主体的に出したり友だちの中で認められる糸経験をして、クラス集団が高まってほしいと思っています。卒園・進級まで残りわずかですが、友だちと一緒に泣いたり笑ったりして心もからだも大きくなってほしいと思います。

今、ぞう組の子たちは異年齢クラスから抜け、単独クラスとなっています。4月には16名の子どもたちが12の小学校に入学します。新しい集団の中でも自分の力を発揮してくれることを願っています。